

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

介護する家族の苦勞を聞いて欲しい

どうなる・どうする渋谷の介護



70人を超える人が会場いっぱいになりました

渋谷 介護保険シンポジウム開催

4月の介護保険の改正では、「入院から在宅へ」「保険料の値上げ」「保険給付の削減」「介護の市場化の推進」などが行なわれようとしています。渋谷区社会福祉推進協議会(以下、渋谷社保協)は、改正の問題点、渋谷区の現状、利用者や現場の実態を共有し、「権利としての社会保障」を確立するための運動に、多くの人に参加してもらうため、2月3日、東京土建渋谷支部でシンポジウムを開催し、70人を超える人たちが参加しました。

及川正彦氏 (東京民医連の理事)



「改正」介護保険制度の概要

及川理事は、介護保険制度では社会保障の構造改革を推進し、医療から介護を切り離して医療制度改革の条件

をとのえ、国庫負担 費サービスへの拡大、を軽減し保険料や利用 一部を削減し保険料や利用 市場化・営利化の推進 職員等にさせること、をしていると批判。

実際、2000年の制度開始時の保険料の基準月額(平均額)は「2,911円」であるのに対し、2009年には「4,160円」となり、2012年には5千円を超えると指摘しました。

また、「都市部の急速な高齢化」や「高齢者の1人暮らしと認知症の高齢者の増加」により要介護認定者数が増加、介護保険の総費用が8年間で2倍になったと説明しました。

さらに、国はせめて4割以上の人が在宅で亡くなってもらえれば、医療費が削れると考えているとし、施設でも在宅でも「誰もが安心して暮らせるような地域包括ケア」を作っていくと強調。

また、国は介護の「社会化」と言いながら家族に負担させているが、ショートステイなどを活用し介護をしている人たちの助けを求めたいと訴えました。

今回の改定では、給付の重点化や効率化をはかるためとして軽度の縮小と重度の強化、介護施設から在宅への移行、自

宅への移行、自

五十嵐千代子氏 (渋谷区議)



渋谷区の介護の実態

五十嵐区議は、渋谷区の特養ホームの待機者は633人で、2、3年待機しても入れない状態と報告。また、渋谷区の保険料の現在の基準額(平均額)は4,320円(年額51,840円)と高すぎるため、2010年度の滞納者は894人になっており、さらに、高すぎる利用料のため利用限度額に対する平均利用率が49%にしかたっていないと説明しました。



石垣 昭氏 (はたがや介護相談ステーション)



事業者の立場から

石垣氏は、4月から介護施設などの法人に付する5年ごとに収入を報告することになると報告しました。

また、新たにはじまる「定期巡回・随時対応型サービス」では、「要介護5」の人では利用料の限度額の8割を占め、他のサービスが使用しにくくなり、家族介護の負担が増えることになるが、渋谷区はこの制度は様子見のようであると説明しました。

さらに、このサービスの事業所は入札などにより6年ごとに法人が変更されていくた

ると報告しました。介護職員の処遇については、国は月額15,000円増額すると言っていたが、実態は区の施設で1万円、民間で8千円しか上がっていないと報告。区民の実態は区に伝わっていないので、ぜひみなさんの声を出して欲しいと訴えました。

め、福祉分野に過激な競争原理が働きコンビニのようなマニュアルサービスや、低賃金労働の横行、贈賄罪の増加の恐れがあると危惧していました。

また、介護者が疲労困ぱいして、各地に介護者の会が立ちあがっているという報告。自分が気がつかないで虐待を行っている人もいるので、虐待とすることがあつたり、認知症の人の生活が乱れているようだったら、匿名でもいいので地域包括支援センターに報告して欲しいと訴えました。

そして、介護を受けようになった時、家族の介護力には限界があるので、渋谷社保協に要求を結集させて、より良い介護保険制度にして行く必要があると強調しました。

最後に今回のシンポジウムのコーディネーター・渋谷社保協の福田子会長が、「しっかりと学んでしっかり考え、討論して行動に移さなければならぬ。今日が新たな出発点になりますように私たちが社保協も決意を新たにしたい」と締めくくりました。

吉澤幸子氏 (渋谷区在住、利用者家族)



利用者の立場から

吉澤氏は、介護認定の調査では、夫の高次脳機能障害や失語症の質問も無く、調査の「特記事項」の質問に「は、言いたいことがあったのに、そばに夫がいて話せなかったの

で

千駄の萱

先日NHKテレビ「青春リアル」の「福島をずっと見ているTV」を観た前回

で、「避難せず福島に住み続ける人たち」の不安、「避難したものの後ろめたさを感じる人たち」の葛藤を放送してきたという。今回は、番組あての一通のメールから始まった「福島から『出た人』」に分けて愚痴を言うのを放送するだけにしないで!どうしたら福島県民が前を向いて歩けるかもっと提案して!▼それに応えて「残った人」『出た人』メールを出した人が登場、「前を向くための一歩」についてともに考え、互いの気持ちを理解しあう深い内容となった▼あんな話し合いができるようになったらいい。そのために今何をすべきかと考え思いついた▼おはようにおハヨウ、お疲れ様にオツカレサマ:言葉は交わすがこれでは不十分、もう一つ加え初めて挨拶になる▼今日は寒いねえ、電車が混んでいたね、そんなひとりが挨拶を成立させ、そこから会話が始まる▼まずひと多い挨拶を始めてみよう。(み)